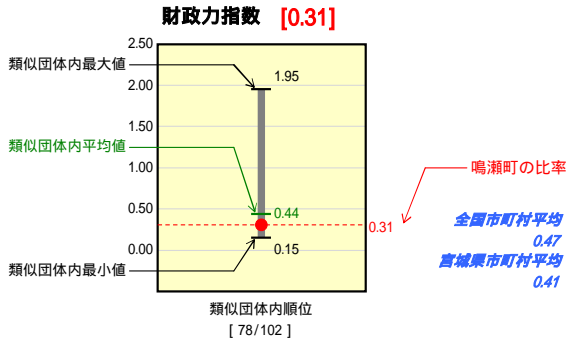


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

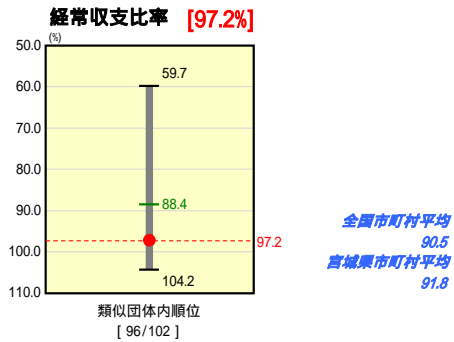
宮城県 鳴瀬町

人口	11,360人(H17.3.31現在)
面積	52.05 km ²
歳入総額	6,583,382千円
歳出総額	6,489,920千円
実質収支	93,462千円

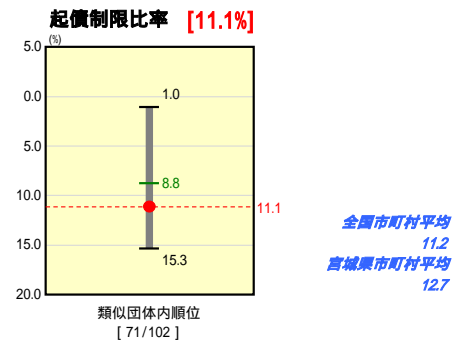
財政力



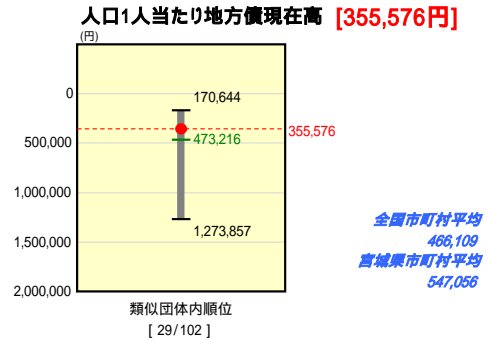
財政構造の弾力性



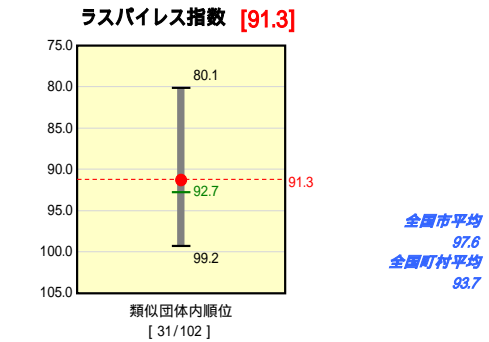
公債費負担の健全度



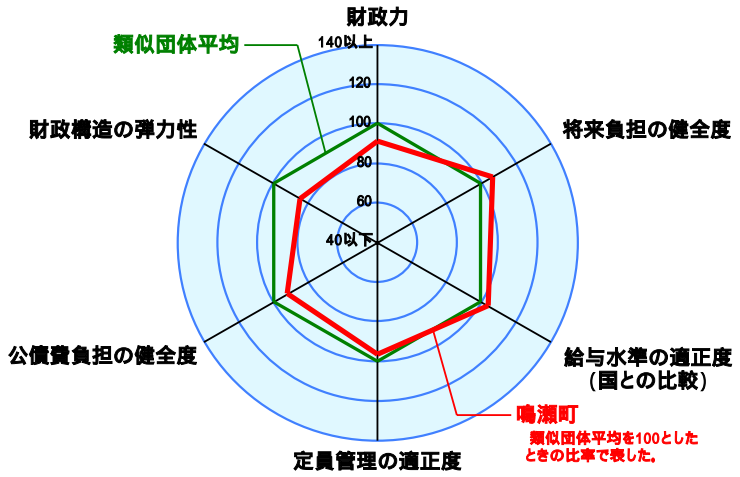
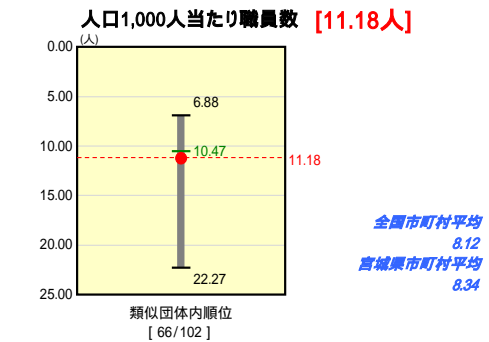
将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数

- 地方税等における収入確保に努めることで、交付税や国県支出金等への依存型財政から、自立した財政運営を図る。

経常収支比率

- 福祉関係経費の増加や、他会計への繰出の増加などにより、類似団体と比較し大幅に上回る状況にある。今後は、実施計画「集中改革プラン」との整合性を図り、行財政改革の取り組みを通じ経常的経費の削減に努め、市としての適正な基準範囲での推移を目標とする。

起債制限比率

- 減少傾向にあるものの、過去に実施された大規模事業の影響により類似都市と比較し上回る状況にある。投資的事業に関する比率は今後も下降傾向にあるが、宮城県北部連続地震に伴う災害復旧事業債の償還が開始となることから、今後控えている事業等において、起債依存型の事業実施を見直すことで、起債制限比率の上昇の抑制を図る。

人口1,000人当たり地方債現在高

- 健全財政運営を図るため、公債費の抑制を図り、類似団体と比較して下回る状況となっているが、宮城県北部連続地震による、災害復旧事業債の多額の発行など、増加傾向にあることから、今後は、起債依存型の事業を見直すことで、住民の将来負担の軽減を図る。

ラスパイレス指数

- 組織の再編に併せ、給与体系の見直しを図るなどにより、類似団体平均と比較して下回っている状況にある。今後も地域の民間企業の平均給与状況を踏まえ、給与の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数

- これまでも、退職者数に対し新規採用の不補充など、職員数の抑制を図ってきたが、出張所を配置しているなど類似団体平均と比較して上回った状況となっている。今後は、合併協議での今後10年間における職員数の削減目標の50人を尊重し、適切な定員管理に努める。